

「もしもの時」救急車の利用を

みんなでつなぐ、ひとつの命
その一歩が、チームになる。

大声でSOS
119で救急車を呼ぶ
救急隊を誘導する
AEDを持ってくる・使用する
心肺蘇生！1.2.3.4...

「その時」に備えて、救命講習を受けてみませんか？

9月9日は救急の日

救命の連鎖
救急隊・医師へ
二次救命処置と
集中治療

救急車の適時・適切な利用をお願いします。
救命講習の受付については最寄りの消防署にお問い合わせください。

※総務省消防庁より

もしもの時の救急車の利用について考えてみませんか。

9月9日は「救急の日」です。また、この日を含む9月6日から12日までの1週間は「救急医療週間」です。

■県内の救急の現状

県内では、令和6年の1年間に、約11万件以上の救急出動があり、約11万人が救急車で搬送されました。前年に比べて、救急出動件数が1・8%、救急搬送人数が3・0%増加しています。また、総務省消防庁は、救急車利用リーフレットを世代別に公表しています。顔や手足のしび

9月9日は「救急の日」

れ、突然の激しい頭痛や腹痛などの症状が出たら、すぐに119番通報をしましょう。

■迷ったときは救急医療電話相談へ

夜間の急病やけがで、救急車を呼んで医療機関を受診すべきかの判断に迷ったときは、「救急医療電話相談（#7119）」

「小児救急医療電話相談（#8000）」をご利用ください。看護師等から受診の必要性や対処方法等の助言、受診可能な医療機関の案内を受けることができます。

電話受付時間【月～土曜日】午後6時～翌朝午前8時※ゴールデンウィーク、年末年始は24時間相談受け付け

【日曜日・祝日】午前8時～翌朝午前8時（24時間）

■本記事への問い合わせ先

糸魚川地域振興局健康福祉部 地域保健課 電話 025・553・1933

クローズアップ 振興局

糸魚川
振興局
だより

県糸魚川地域振興局からのお知らせ

〒941-0052 糸魚川市南押上1-15-1
Tel 025・553・1843
Fax 025・552・9944
E-mail ngt112010@pref.niigata.lg.jp
URL https://www.pref.niigata.lg.jp/site/itoigawa/

突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!

高齢者

顔

- 顔半分が動きにくい（しびれる）
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立てられない

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）
- けいれん
- けいれんが止まらない
- けい・やけど
- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気
- 飲み込み
- 物をのどにつまらせた

事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!

※ 119番通報などの判断に迷った時は、救急相談窓口（#7119等）にご相談ください。

※総務省消防庁より

救急車を呼ぶ? 病院に行く? 迷ったときは...

大人（成人15歳以上の方）を対象

救急医療電話相談

県内のプッシュ回線・携帯電話からは
7 1 1 9

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは 025-284-7119

15歳未満のお子さんを対象

小児救急医療電話相談

県内のプッシュ回線・携帯電話からは
8 0 0 0

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは 025-288-2525

相談時間
月～土曜 18時～翌8時
日・夜 8時～翌8時

相談内容
発熱、頭痛、腹痛、吐き気など急な病気やけが等に関する相談（医師の指示）

終日24時間相談いただけます

新潟県

※新潟県ホームページより